

木材ニューズレター

(財)日本木材総合情報センター
TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(17年11月分)

1. 調査実施期間 平成17年 10月20日 ~11月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、FAXによりアンケート調査票を送受することにより実施した。

11月分の回答企業数は40社、回収率は70.2%である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

$$\text{Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス)} = \{(\text{「増加」の評価を行った回答の割合}) \times 2 + (\text{「やや増加」の評価を行った回答の割合}) - (\text{「減少」の評価を行った回答の割合}) \times 2 - (\text{「やや減少」の評価を行った回答の割合})\} \div 2$$

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		17/11月	12月	18/1月
仕入動向	国産材	△ 7.8	△ 14.1	△ 17.2
	外材	△ 5.4	△ 13.9	△ 16.7
販売動向	国産材	△ 9.1	△ 16.7	△ 15.2
	外材	1.4	△ 10.8	△ 20.3
在庫動向	国産材	△ 6.3	△ 4.7	△ 6.3
	外材	△ 8.1	△ 8.1	△ 8.1

仕入れは、12~1月に国産材、外材ともマイナス幅拡大の動き。

販売は国産材が小さなマイナス幅からやや大きなマイナス幅へ後退し、外材は小さなプラスから12~1月は大きなマイナス幅へと一気の動きを示す。

在庫の12~1月は、国産材、外材とも小さなマイナス幅でほぼ横ばいの推移である。

(2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品目	17/11月	12月	18/1月
スギ正角(グリーン)	△ 1.8	0.0	0.0
スギ正角(KD)	0.0	1.9	1.9
ヒノキ正角	0.0	0.0	0.0
ヒノキ土台角	△ 2.0	0.0	0.0
米ツガ正角(現地挽)	13.0	10.9	10.9
米ツガ防腐土台角	4.2	4.2	4.2
米ツガ割物(現地挽)	16.7	10.4	8.3
米マツ平角	16.7	6.5	4.3
北洋アカマツタルキ(現地挽)	4.5	2.3	6.8
ホワイトウッド集成管柱	△ 6.5	△ 6.5	△ 6.5
レッドウッド集成平角	0.0	0.0	△ 2.2
型枠合板(国産)	17.5	12.5	7.5
型枠合板(輸入)	20.5	13.6	9.1
針葉樹合板	19.0	11.9	11.9

スギ、ヒノキ構造材は、12~1月小さなプラス幅、ゼロと堅調な推移である。

米ツガの正角、土台等はプラス幅で若干の上下があるが好調である。米マツ平角は大きなプラス幅を縮小させるが、小さなプラス幅を堅持。

北洋アカマツタルキは小さなプラス幅でほぼ横ばい。

ホワイトウッド集成管柱は小さなマイナス幅で安定。またレッドウッド集成平角はゼロ、小さなマイナス幅で横ばい。

合板はプラス基調で若干幅が縮小するが好調である。

<参考>木材製品の荷動き・価格先行動向調査

(数値は回答に対する割合)

1. 荷動き

単位:%

品目		17/11月	12月	18/1月	
仕入動向	国産材	増加	0.0	0.0	0.0
		やや増加	9.4	6.3	0.0
		横ばい	68.8	62.5	68.8
		やや減少	18.8	28.1	28.1
		減少	3.1	3.1	3.1
	外材	増加	0.0	0.0	0.0
		やや増加	18.9	11.1	2.8
		横ばい	56.8	55.6	66.7
		やや減少	18.9	27.8	25.0
		減少	5.4	5.6	5.6
販売動向	国産材	増加	0.0	0.0	0.0
		やや増加	15.2	6.1	3.0
		横ばい	57.6	57.6	66.7
		やや減少	21.2	33.3	27.3
		減少	6.1	3.0	3.0
	外材	増加	2.7	0.0	0.0
		やや増加	21.6	16.2	0.0
		横ばい	54.1	48.6	62.2
		やや減少	18.9	32.4	35.1
		減少	2.7	2.7	2.7
在庫動向	国産材	増加	0.0	0.0	0.0
		やや増加	6.3	3.1	3.1
		横ばい	75.0	84.4	81.3
		やや減少	18.8	12.5	15.6
		減少	0.0	0.0	0.0
	外材	増加	0.0	0.0	0.0
		やや増加	10.8	10.8	2.7
		横ばい	64.9	64.9	81.1
		やや減少	21.6	21.6	13.5
		減少	2.7	2.7	2.7

2. 価格動向

品目		17/11月	12月	18/1月
スギ正角 (グリーン材) 10.5×10.5cm ×3m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	0.0	0.0	0.0
	横ばい	96.4	100.0	100.0
	やや下落	3.6	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
スギ正角 (KD材) 10.5×10.5cm ×3m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	0.0	3.7	3.7
	横ばい	100.0	96.3	96.3
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
ヒノキ正角 10.5×10.5cm ×3m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	3.7	0.0	0.0
	横ばい	92.6	100.0	100.0
	やや下落	3.7	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
ヒノキ土台角 12.0×12.0cm ×4m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	0.0	0.0	0.0
	横ばい	96.0	100.0	100.0
	やや下落	4.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0

品目		17/11月	12月	18/1月
米ツガ正角 (現地挽) 9.0×9.0cm 10.5×10.5cm ×3~4m	上昇	0.0	4.3	4.3
	やや上昇	26.1	13.0	13.0
	横ばい	73.9	82.6	82.6
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
米ツガ防腐 土台角	上昇	0.0	0.0	4.2
	やや上昇	8.3	8.3	0.0
	横ばい	91.7	91.7	95.8
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
米ツガ割物 (現地挽)	上昇	0.0	4.2	4.2
	やや上昇	33.3	12.5	8.3
	横ばい	66.7	83.3	87.5
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
米マツ平角	上昇	4.2	4.3	4.3
	やや上昇	29.2	8.7	4.3
	横ばい	62.5	82.6	87.0
	やや下落	4.2	4.3	4.3
	下落	0.0	0.0	0.0
北洋アカマツ タルキ (現地挽)	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	9.1	4.5	13.6
	横ばい	90.9	95.5	86.4
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
ホワイトウッド 集成管柱 (5層国内産)	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	8.7	0.0	0.0
	横ばい	73.9	91.3	91.3
	やや下落	13.0	4.3	4.3
	下落	4.3	4.3	4.3
レッドウッド 集成平角	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	4.3	4.3	0.0
	横ばい	91.3	91.3	95.7
	やや下落	4.3	4.3	4.3
	下落	0.0	0.0	0.0
型枠用合板 (国産品)	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	30.0	25.0	15.0
	横ばい	70.0	75.0	85.0
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
型枠用合板 (輸入品)	上昇	4.5	0.0	0.0
	やや上昇	36.4	27.3	18.2
	横ばい	54.5	72.7	81.8
	やや下落	4.5	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
針葉樹 構造用合板	上昇	4.8	0.0	0.0
	やや上昇	38.1	23.8	23.8
	横ばい	47.6	76.2	76.2
	やや下落	9.5	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0

<モニターからのコメント>

- 米マツ丸太は、輸出価格上昇、フレート上昇、円安と、かつてない厳しい状況に追い込まれている。現地が日本マーケットを見ていない事から、今後の配船が危ぶまれる。(東京:問屋)
- 米材動向次第。現地価格、船運賃、円安要因など全てコストアップ。近々暴騰あるか。樹種転換か？ (東京:問屋)
- 南洋材、中国材共に産地高と円安為替で新規調達難。国内では粗悪品や処分品の安値が占める。(東京:問屋)
- 円安が値入コストを押し上げているが、産地側に値下げの意思は全くなく、苦しい商いを強いられている。販売価格に転嫁できないのが苦しいところである。(東京:問屋)
- 外材全般に値上がり気味。販売価格に転嫁出来ずにいるが、荷動きは良い。(東京:問屋)
- 10月下旬から売れ行き不振。今年はこれまでか？ しかし来年は、いよいよ木材もデフレ脱却の期待もある。(東京:問屋)
- 製品米材入荷が減ったため販売する玉がなく、売り上げが少ない。(東京:問屋)
- プレカット加工率が高い中京地区、住宅会社の物件が多く、市場からプレカットへ流れる材が非常に少なく、ヒノキ土台も10月後半に 2,000~3,000/m³ に値戻ししたものの頭を打った。(東海:問屋)
- 秋需は10月で終わったような感がする。幅は別として、輸入物、外材および関連品は、荷動きと関係なく、数カ月後には上昇するのではないだろうか。(東京:仲買小売)
- 今年の景気は年初から一気に階段を駆け下りるように落ち込んだが、ここへ来て幾らかでも小さなリフォーム仕事が出てきたのではないか？ しかし量が動かない。(東京:仲買小売)
- わが社の業績はかなり落ちている。仲買の中でも良い所と悪い所の二極化が進み、数も急速に減ると思う。(東京:仲買小売)
- 問屋から合板関係値上げのアナウンスが来るが、実感なし。ホームセンターのチラシから合板特価が消えているのは、その辺の事情か？ (東京:仲買小売)
- 依然として需要は低迷している。荷動きは鈍い。ただ為替、オイルの関係で米材は強い。(東海:仲買小売)
- ラワン材はこれから上昇傾向にある。(東海:仲買小売)